



衣浦港3号地廃棄物最終処分場の 現状と割引制度について

公益財団法人 愛知臨海環境整備センター(アセック)

安心・安全な処分場として

- 1 優良産廃処理業者認定
- 2 公害防止協定の締結
- 3 処分場の公開

1 優良産廃処理業者認定

優良産廃処理業者認定制度は、廃棄物処理法に基づき、通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を、認定する制度です。

アセックは、安心・安全な処分場として、平成23年4月に優良産廃処理業者として認定を受けました。

○認定基準

- 1) 遵法性
- 2) 事業の透明性
- 3) 環境配慮の取組
- 4) 財務体質の健全性 など

2 公害防止協定の締結

アセックでは、安心・安全な処分場であるために、地元自治体と公害防止協定を締結し、法規制よりも厳しい放流基準や環境監視体制を設けています。

武豊町との公害防止協定値(抜粋)

(H22. 7~H29. 10)

	単位	法基準値	公害防止協定値	放流水実績値
COD	mg/L	90	10	1.5~8.1
SS	mg/L	60	10	<1~8
T-N	mg/L	120(60)	10	<0.5~5.4
T-P	mg/L	16(8)	1	<0.1~0.1

3 処分場の公開

処分場の公開を随時行っております。

これまでの見学状況 (H29.10.31現在)

	団体数	人数
平成27年度	39団体	588名
平成28年度	36団体	365名
平成29年度	29団体	240名



埋立事業の現状について

- 1 埋立事業の概要
- 2 廃棄物等搬入量

1 埋立事業の概要

(1) 全景



1 埋立事業の概要

(2) 埋立処分場の面積及び容積

	面積 (ha)	容積 (万m ³)		
		廃棄物	覆土	合計
安定型区画	8.4	73	8	81
管理型区画	34.4	423	34	457
管理施設用地等	4.4	-	-	-
合計	47.2	496	42	538

- 面積は、公式サッカーコート約66倍
- 容積は、ナゴヤドーム約3倍
- 残余容量(覆土量含む、H28年度末現在)
 - 安定型区画:約27万m³
 - 管理型区画:約349万m³

1 埋立事業の概要

(3) 受入廃棄物等

	埋立区画	廃棄物等の種類
一般廃棄物	管理型区画	焼却残さ、無機性汚泥
産業廃棄物	安定型区画	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
	管理型区画	燃え殻、無機性汚泥、鉱さい、ダスト類、第13号廃棄物
建設発生土	安定型区画	土壌環境基準に適合するもの
	管理型区画	その他

2 廃棄物等搬入量

(4) 年度別搬入量

(H29. 10. 31現在)

(単位:トン)

		H27年度	H28年度	H29年度	埋立開始からの合計	
一般廃棄物		69,091	65,758	46,503	453,262	15.3%
産業 廃棄物	安定型	824	4,804	695	13,260	0.4%
	管理型	158,651	134,029	76,693	907,132	30.6%
建設 発生土	安定型	496,047	470,798	163,853	1,406,222	47.5%
	管理型	19,617	14,870	15,173	182,699	6.2%
合計		744,230	690,259	302,917	2,962,875	100%

- ・搬入量は、埋立開始からこれまでに約296万トン
- ・産業廃棄物が約31%、一般廃棄物が約15%、建設発生土が約54%

割引制度等について

- 1 継続割引
- 2 鉋さい割引
- 3 無料判定制度

1 継続割引

(1) 割引の対象

鋳さいを除く産業廃棄物及び一般廃棄物

(2) 割引の内容

前年度搬入実績量の80%を規定量とし、それを超えて搬入された量に対して、継続搬入年数に応じて15%～30%割引相当の割引単価を適用

継続年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目～
割引率	0%	15%	20%	25%	30%

(注)継続年数とは、過去の搬入実績を確認し、割引対象年度まで継続して搬入実績のある年度の数进行。

→ 継続するほど安くなります。

2 鉍さい割引

(1) 対象品目 鉍さい

鉍さいの具体例: 鋳物廃砂、溶解炉のかす、
キューポラのノロ、ボタ、不良石炭、粉炭かす等

(2) 割引の内容

鉍さいの処分料金: 15,700円/トン → 9,800円/トン
(38%割引)

3 無料判定制度

(1) 対象

次の項目を満たす排出事業者

- ・アセックと廃棄物埋立処分契約を結んでいないこと
- ・分析が必要な廃棄物を搬入する場合 など

(2) 割引の内容

処分委託の申込時に必要な廃棄物溶出試験等分析に係る申込者負担額

通常

無機性汚泥 28万円程度※
燃え殻 16万円程度※
鉬さい 4万円程度※
など

制度利用時

0円

(アセックが全額負担で実施)

※建設物価(平成28年4月)((一財)建設物価調査会)を用いて試算。

ご清聴ありがとうございました。

(公財)愛知臨海環境整備センター
<http://www.asec.or.jp/index.html>

